

平成20年9月16日

島田市幼・保園保護者 様
小中学校保護者 様

島田市教育委員会
委員長 染谷絹代

(教育委員会からの提言)

週に1回、「ノーテレビデー」を

- ・ 「ゲーム大好き、朝もだらだら。そんな子たちがテレビのない生活で変わっていった」
- ・ 「毎朝 10 回以上も、怒鳴っていたのはテレビのせいだった？ノーテレビデーにして、『すごいね。早いね』と初めてほめた朝」

これは、「テレビを見ない日なんてつくれるはずない」と思い込んでいた家庭で実際に取り組んだ母親の感想です。テレビを見ない日は、親子で何かをしたりそれぞれが静かな時間を持ったりしてはどうでしょうか。とにかく一度テレビを消した時間を持ってみましょう。何か良いことが出てきそうです。

ブラウン管からギラギラした光、めまぐるしい速さで変わる画面、暴力・破壊・殺し合いの場面の多さ、乱暴な言葉の多さ、騒々しさばかりの画面、このような世界に慣れてしまったら、落ち着いて何かを眺めたり、じっくり考えたり、丁寧な言葉で話したりする力が育たなくなってしまう。

「一日中テレビをつけている家庭では、乳幼児の心の発達にゆがみが生じている」ということがわかってから、アメリカでも日本でも、小児学会が 2004 年に次のような提言をしています。

- ・ 2歳までのテレビ・ビデオの視聴をひかえましょう。
- ・ 全てのメディアに触れる時間は、1日2時間までを目安としましょう。
- ・ 子どもの部屋にテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにしましょう。

テレビ以上に怖いのが「テレビゲーム」です。脳科学者によれば、「テレビゲーム」をやっているときは、考える働きをする部分の脳がほとんど働かない状態になるのだそうです。このような脳の状態が続くと脳の発達が遅れてしまいます。人の脳は10歳のころに完成します。その間、「テレビゲーム」漬けになっていると脳の発達が遅れて、すぐにキレたり乱暴な行動に出たりすることがあるとその学者は警告しています。

携帯も含めて「メディア漬け」にならない使い方を考えていきませんか。